



四つ葉のクローバー

（前略）130名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、この三尻中学校第1学年の生徒となりました。先生方も上級生も皆さんの入学を本当に楽しみにしていました。本日で、全校生徒445名がそろい、三尻中学校は新たな一步を踏み出します。全員で力を合わせて、一步一步前進していきましょう。

さて、皆さんが社会に出て、活躍する近未来は、労働人口の約半分が人工知能AIやロボットにかわる時代になると予想されています。このような時代をしなやかに生き抜いていくためには、「このことは自分に任せて下さい」と自信をもって言うことができるよう、自分の能力や個性をこれまで以上に高め、伸ばしていく必要があります。中学校の3年間は、社会に出る準備期間です。この準備期間に、自分のよいところをたくさん見つけてください。今、「皆さん自身のよいところを3つ挙げてみて下さい」と言われたら、すぐに挙げることができるでしょうか。よいところがたくさん見つかるようになると、自分自身にも自信がついてくると思います。そうすれば、つらいことや苦しいことがあったときにも、それを乗り越え、大きく成長できるのだと思っています。

また、これからの3年間では、「自分のよいところ」だけでなく「周りの人のよいところ」もたくさん見つけて欲しいです。人間誰でも、周りの人の「よくないところ」にはすぐに気が付きます。そして、そのことばかりが気になって仕方ないことがあります。そうすると、「よいところ」は陰に隠れるように、モヤで霞んでしまうように見えなくなってしまいます。「よいところ」を見つけるのは、案外難しいことなのかもしれません。ですから、誰もがもっている「よいところ」を見つける練習を重ね、それを認める「目」や「心」を養うことが大切なのです。パナソニックの創業者である松下幸之助さんは「人の長所が多く目につく人は幸せである」という言葉を残しています。それは「長所（よいところ）」を認めつつ周りの人と接することで、人間関係がよくなり、自分自身の成長にもつながるからです。私は、このお話を初めて聞いたときに、「四つ葉のクローバーを見つけると、見つけた人が幸せになる」というエピソードが頭に浮かびました。学校生活でも皆さんの「四つ葉」を見つけてくださいね。

保護者の皆さま、本日は誠におめでとうございます。大切なお子さんをお預かりする、その責任の重さに身の引き締まる思いです。中学校での3年間はお子さんが心身共に大きく成長する時期です。お子さんの健やかな成長のためには、保護者の皆様と私たち職員とが心をつなげて支え導いていくことが大切であると考えております。本校の教育活動に対しまして、御理解・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新入生の中学校生活が明るく充実したものであることを改めて祈念するとともに、御臨席賜りました御来賓の皆さま方に重ねて御礼申し上げ、式辞といたします。